

『百人一首』恋歌の謎 ——式子内親王の「男歌」、藤原定家の「女歌」

講師 五月女 肇志 (文学部国文学科 教授)

競技かるた等で親しまれている『百人一首』の中で、代表的な恋歌といえる
「玉の緒よ絶えなば絶えね長らへば忍ぶることの弱りもぞする」
「来ぬ人をまつ帆の浦の夕風に焼くや藻塩の身も焦がれつつ」
の二首を取り上げ、それぞれの作者の真意に迫って行きます。

ご都合の良い時間に、お好きな場所で受講してみませんか。
公開期間中は何度でもご視聴いただけます。
受講方法は、お申込時にお知らせいただいたメールアドレスあてにご案内します。

申込受付 ~2024年5月21日(火) 13時
※申込フォームからお申し込みください。

<申込フォーム>



オンデマンド開講

二松学舎大学公開講座

お問い合わせ 二松学舎大学 地域・産学連携室 s-renkei@nishogakusha-u.ac.jp

2024

公開期間

3月25日(月)10時
~
5月21日(火)16時

宇宙には、正体不明な物体があり、それが宇宙を満たしていることはわかっております。
それは、銀河、星等の既存のものより、4倍以上多くあります。宇宙の主役はその見えない暗黒物質なのです。ここでは、その存在を示す証拠を示し、また現在考えられているその正体の候補を説明します。
分子、原子よりさらに基本的な構成要素である素粒子が宇宙を構成しています。
標準理論といわれる素粒子の理論がありますが、それを超える未知の理論がその暗黒物質を説明するには必要です。未知の理論から予想される新しい素粒子の一つが暗黒物質です。世界中で30年以上も探査が行われてきましたが、正体がかかめておりません。
ここでは、どのような探査が行われて来たかを概観し、私が提案した探査法も説明したいと思います。

講師 岩崎 愛一 (国際政治経済学部国際経営学科 教授)

宇宙暗黒物質の正体を探る

教養講座